

認知症  
三三講座  
⑩

コミュニケーション

認知症の方と関わる人は、会話やコミュニケーションをどうやってとればよいのか、悩む時期がおとずれます。今回は、認知症の方とのコミュニケーションのポイントをお伝えします。

話下手なのはどっち？

認知症の方は、最近のことを記憶するのが難しくなっていますが、忘れてしまつことを自覚している場合も多くあります。いろいろなことを不安に思い、それを隠そうとしてごまかしたり、他人を非難したり拒否することで、自身を守ろうとします。

新人介護従事者からも、「どうやって話をしたらいいのか悩みます。同じことを言つてきて、どう返事していいのかわからない。」と相談されることがあります。

みなさんは認知症の方が、同じことを繰り返し聞いてくる時、どれだけ会話を続けることができますか？おそらく、ほとんどの方が、1分ほどで会話を終わらせてしまつてしまう。認知症の方の会話は、非現実的であったり、話がかみ合わなかつたりします。介護する側は、どう答えてよいのか分からず、ごまかした答えて返事してしまうことがほとんど

です。また、介護する側から話をしようとしても「はい・いいえ」で答えられる質問しかできていないのが現実です。

認知症の方とは会話が続かないのではなく、介護する側が認知症の方との会話やコミュニケーションを特別のものと思ひ込んでいるのです。

会話をするポイント

認知症の方に、「ごまかし・嘘」は通用しません。「ばかにされている」と感じ取り、ますます混乱し、悪影響になります。会話の内容が非現実的であっても、

一旦話を受け入れて（共感）ください。認知症の方がよく繰り返す言葉や訴えを、同じ口調や表情で繰り返す・訴える事柄と、反対のことを連想させる質問（帰れなくて困ったことはありませんか？など）をします。また、「はい・いいえ」で答える質問は会話が終了してしまうので避けてください。「誰か・何を・どこで・いつ・どうやって」の言葉や「曖昧な

言葉（どんな感じがする？など）」を使って、認知症の方が自由な返事を返せるように心がけてください。また、会話の内容が非現実的であるほど、「なぜ？」という質問をしてしまいがちですが、「なぜ？」という言葉は認知症の方の行動を直視させ否定する言葉になるので使わないようにしましょう。

認知症の方は私たちと同じ人間です。仲の良い友人や兄弟と話しているように接していくと、認知症の方が本当に伝えたい内容が分かることがあります。ぜひ、ためしてみてくださいね。

坂井きらめき 石川陽子

年末年始の営業案内

- 高齢者介護施設きらめき  
…サービスにより異なります。  
各施設までお問い合わせください。
- ぐらしの助け合いの会  
…12/30(水)～1/3(日)お休み  
【お問い合わせ先】  
ぐらしの助け合いの会  
TEL.0776-52-0655  
(受付時間  
月～金 9:00～17:00(祝日は除く))

お問い合わせ先 15ページコールセンター

食と福祉と  
助け合い

ぐらしのお役立ち  
キャンペーン2015の報告

9月に「ぐらしのお困りごとは生協に」をコンセプトにぐらしに役立つサービスを全事業所で紹介いたしました。ご参加・ご協力いただいたみなさん、ありがとうございました。

備えよう

食事宅配(夕食弁当・介護食・医療食)の  
試食会&介護相談会

各ハーツで開催し、沢山の方にご参加いただきました。「美味しい」「医療食は便利」など好評な声をたくさんいただくことができました。



店舗でのブース案内



試食会・介護相談会

学ぼう

認知症サポーター養成講座

104人の組合員のみなさんと377人の職員が受講しました。県民せいきょう職員の7割が認知症サポーターとなりました。



楽しもう

各地域できらめき祭を開催!

今年も各地域で盛大にきらめき祭(約1800人来場)・きつず祭(310組来場)を開催しました。たくさんのご来場ありがとうございました。



羽水きらめき祭りの様子



きつず祭りの様子